

第22課 推測：とみえる・かねない・おそれがある・まい／ではあるまいか・に違いない・にきまっている

第22課對應《新完全マスター N2》第1部「III 主観を述べる（表達主観）」的第22課，主題是「～だろうと思う」一系，也就是說話人對某件事下的推測、判斷。N3 已學過 ～だろう／～かもしれない／～はずだ 這些基本的推量說法；本課再加入六個語感更精細的講法：根據觀察去推測的 ～とみえる、表示「很可能演變成壞結果」的 ～かねない、書面新聞體的 ～おそれがある、否定推量的 ～まい／～ではあるまいか、帶強烈確信的 ～に違いない・～に相違ない，以及說話人主觀斷定的 ～にきまっている。

■ 今課目標

- 用 ～とみえる 表達「看來似乎...」，根據觀察到的樣子去推測，被推測的對象不出現在句中。
- 用 ～かねない 表達「很可能會...（壞結果）」，接動詞 ます-stem，留意它和 ～かねる（無法...）意思相反。
- 用 ～おそれがある 表達「恐怕會...（壞事）」，屬書面、新聞體。
- 用 ～まい 表達「大概不會...」（否定推量），用 ～ではあるまいか 表達「莫非...吧」的婉轉反問。
- 用 ～に違いない・～に相違ない 表達「一定是...」，有根據的強烈推斷（に相違ない 更書面）。
- 用 ～にきまっている 表達「肯定是...」，說話人不必查證便深信、斷定。

一、～とみえる：看來似乎...

■ 根據觀察推測別人的情況

～とみえる 表示「有某個根據（多半是看到的樣子），據此推測『似乎...、好像...』」，相當於「～らしい・～ようだと思う」。重點：主要用在「看到別人（或事物）的樣子，以此為根據去推量」，所以被推測的那個對象（人）不會出現在句中。常和「～のを見ると、～ところを見ると」這類交代根據的說法一起用。

■ 形式規則

普通形 + とみえる。根據觀察到的樣子去推測；被推測的人不出現在句中，多帶「看其情形...」的語感。

■ 例句

1. 窓を開けたままにしてあるとみえて、部屋の中まで雨が吹き込んでいた。
→ 看來窗戶是一直開著的，雨都吹進房間裡了。(普通形)
2. よほど疲れていたとみえ、彼は電車の中で立ったまま眠っていた。
→ 看來他真的累壞了，在電車裡站著就睡著了。(ナ形容詞普通形)
3. この本は人気があるとみえて、どの書店でも品切れになっている。
→ 這本書看來很受歡迎，每家書店都缺貨了。(イ形容詞普通形)
4. 隣の家は留守だとみえる。何度ベルを押しても返事がない。
→ 隔壁家看來是沒人在，按了好幾次門鈴都沒回應。(名詞+だ)

二、～かねない：很可能會... (壞結果)

■ 照現狀發展下去，恐怕變成壞結果

～かねない 表示「從現在的狀態看下去，很可能會演變成不好的結果」，後句一定是說話人覺得不樂見、負面的事。和 ～おそれがある 相比，～かねない 的「原因」交代得更清楚（正因為現在這個狀況，才會導致那種壞結果）。要特別小心：～かねない 是「很可能會（壞事）」，剛好和第 18 課學過的 ～かねる（辦不到、無法做）意思相反，不要混淆。

■ 形式規則

接續：V.ます + かねない（如「言い+かねない」）。後句接負面結果。★注意：～かねない（很可能（壞事））與第 18 課的 ～かねる（無法、辦不到）意思相反，方向完全不同。

■ 例句

1. そんな無理なスケジュールでは、体を壊しかねない。
→ 照那麼勉強的行程，很可能會把身體搞壞。(壊〔結果])
2. 確認せずに送信したら、間違った相手に情報が届きかねません。
→ 不確認就送出，很可能會把資訊傳給錯誤的對象。
3. その言い方では、相手に誤解を与えかねない。
→ 那種說法，很可能會讓對方產生誤會。
4. 準備不足のまま発表すれば、せっかくの企画も失敗しかねない。
→ 準備不足就上台發表，連好不容易想出的企劃也很可能會失敗。

三、～おそれがある：恐怕會... (壞事)

■ 恐怕會發生不好的事 (書面、新聞體)

～おそれがある 表示「恐怕會發生某件不好的事」，用於負面、令人擔心的事態，是書面、鄭重的講法，常見於新聞、氣象報告、說明書、公告等。和～かねない不同的是，它較少強調「正因為某現狀」這個原因，而是平實地預告「恐怕會出現這種壞局面」。要說「恐怕不會...」時用～おそれはない。

■ 形式規則

名詞 + の／動詞 辭書形・ない形 + おそれがある。用於負面事態的預告；書面、新聞、解說體。否定用～おそれはない。

■ 例句

1. 今夜は各地で雪が積もるおそれがあります。外出はお控えください。
→ 今晚各地恐怕會積雪，請盡量避免外出。(動詞辭書形)
2. このまま開発が進めば、貴重な森林が失われるおそれがある。
→ 若開發照這樣進行下去，珍貴的森林恐怕會消失。(動詞辭書形)
3. 古い配線をそのままにしておくと、火災のおそれがある。
→ 把老舊的線路放著不管，恐怕會有火災的危險。(名詞+の)
4. 台風は進路を変えたため、本州に上陸するおそれはない。
→ 由於颱風改變了路徑，登陸本州的危險已經消失了。(否定 おそれはない)

四、～まい／～ではあるまいか：大概不會...／莫非...吧

■ 否定的推量，與婉轉的反問

～まい 表示「大概不會...、應該不至於...」，是 ～ないだろう 的書面講法。～ではあるまいか 則是「莫非...吧、難道不是...嗎」，用反問的形式把說話人的推量或意見婉轉地說出來，相當於 ～ののではないだろうか。兩者都偏書面、鄭重。注意：不用丁寧形、過去形；一般也不以第一人稱（わたし）作主語。

■ 形式規則

接續：動詞辭書形 + まい (II・III類動詞辭書形或ます-stem 亦可，如「するまい・すまい」)；イ形容詞くある・ナ形容詞ではある・名詞ではある + まい。～ではあるまいか 用「普通形+の (ナ形・名詞なの) +ではあるまいか」。不用丁寧形、過去形；一般不以第一人稱為主語。

■ 例句

1. これだけ念入りに点検したのだから、もう故障はあるまい。
→ 都這麼仔細檢查過了，應該不會再故障了吧。(名詞ではある→ある+まい)
2. あんなに固く約束したのだ。彼が今さら裏切るとはあるまい。
→ 都那樣鄭重地約定了，他事到如今應該不會背叛吧。
3. この計画がうまくいかないのは、準備が足りなかったからではあるまいか。
→ 這個計劃進行得不順利，莫非是因為準備不足吧。(名詞ではある+まいか)
4. このまま黙っていたら、誤解されたままになるのではあるまいか。
→ 再這樣沉默下去，難道不是會一直被誤會嗎。(普通形+の+ではあるまいか)

五、～に違いない・～に相違ない：一定是...

■ 有根據的強烈確信

～に違いない 表示「有某個根據，據此確信『一定是...、肯定是...』」，相當於「きっと～だろうと確信を持って思う」。～に相違ない 意思相同，但語氣更鄭重、更書面。整句帶有「我有理由這樣斷定」的味道，所以前面常先交代根據（～のだから、～ところを見ると等）。也有「普通形+から+に違いない」這種接續的例子。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞・名詞可去だ，或＋である）＋ に違いない／に相違ない。前面常先交代根據；に相違ない 語氣更書面、鄭重。

■ 例句

1. 窓に明かりがついているのだから、彼はもう帰っているに違いない。
→ 窗戶亮著燈，他一定已經回到家了。（動詞ている形）
2. あんなに練習していたのだから、今度の試合はうまくいくに違いない。
→ 那麼努力練習過，這次比賽一定會順利。（動詞辭書形）
3. これだけ証拠がそろっているのだから、犯人はあの男に違いない。
→ 證據都齊全到這個地步了，犯人一定就是那個男人。（名詞）
4. これほど精巧な細工は、相当な熟練者の手によるものに相違ない。
→ 如此精巧的工藝，一定是出自相當熟練的師傅之手。（名詞，書面語 に相違ない）

六、～にきまっている：肯定是...

■ 不必查證便深信的斷定

～にきまっている 表示「絕對是...、肯定就是...」，是說話人憑常理或直覺深信不疑的斷定，相當於「絶対に～だと思ふ」，屬口語講法。它和 に違いない 的差別在於：に違いない 是「我根據某根據推斷」，而 にきまっている 更主觀、直覺，帶有「不論誰來想都一定是這樣」的語氣，不必特地交代根據。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞・名詞可去だ）＋ にきまっている。說話人主觀、直覺的斷定，帶「誰想都一定如此」的語氣，屬口語。

■ 例句

1. こんな夜中に電話してきたら、相手は迷惑に思うにきまっている。
→ 三更半夜打電話過去，對方肯定會覺得困擾。(動詞辭書形)
2. 準備もせずに行ったって、面接に落ちるにきまっているよ。
→ 什麼準備都不做就去，面試肯定會落選啦。(動詞辭書形)
3. こんなに甘いお菓子ばかり食べていたら、体に悪いにきまっている。
→ 老是吃這麼甜的零食，對身體肯定不好。(イ形容詞)
4. あの値段で売っているのだから、偽物にきまっている。
→ 用那種價錢在賣，肯定是假貨。(名詞)

七、常見錯誤與總整理

「很可能（壞）／一定／斷定」三者的分別

句型	核心意思	語感、用法
～かねない	很可能會... (壞結果)	照現狀很可能變壞；原因清楚。接ます-stem。注意與～かねる (辦不到) 相反
～おそれがある	恐怕會... (壞事)	書面、新聞、解說體；平實地預告壞局面
～に違いない／に相違ない	一定是...	有根據的強烈推斷；に相違ない 更書面
～にきまっている	肯定是...	主觀、直覺的斷定，不必交代根據；口語

■ 常見錯誤

- **×** 彼は疲れているとみえると、わたしはすぐ気づいた。
○ **彼はよほど疲れているとみえて、電車の中で眠っていた。**
とみえる 是「看別人的樣子去推量」，被推測的對象（彼）的情況才是被推量的內容；不把推測者（わたし）放進句子，多用「～とみえて」帶出觀察到的結果。
- **×** 確認しないで送信すると、間違っ相手に届くかねる。
○ **確認しないで送信すると、間違っ相手に届きかねない。**
「很可能會（壞事）」要用～かねない，接V.ます的形（届き）。～かねる 是「無法、辦不到」（第18課），意思剛好相反，不能混用。
- **×** 明日は晴れるおそれがあります。
○ **明日は大雨になるおそれがあります。**
おそれがある 只用於「不好的事」；天氣放晴是好事，不能用。若想說好的可能就用～可能性がある／～だろう。
- **×** わたしはもう二度と失敗するまい。
○ **これだけ準備したのだから、もう失敗はあるまい。**
まい 作「否定推量（大概不會...）」時，一般不以第一人稱為主語；第一人稱+まい 多解成「意志（我絕不...）」，語感不同。要表達否定推量宜用第三人稱或事態作主語。
- **×** 雨が降るにきまっているから、傘を持っていきなさい。
○ **この空模様では、雨が降るにきまっている。**
にきまっている 是說話人主觀、直覺的斷定；若要強調「有明確根據」的推斷，宜用～に違いない。兩者語感不同，下結論的依據強弱也不同。

自己輸出：用 とみえる・かねない・おそれがある・まい／ではあるまいか・に違いない・にきまっている 各寫一句。可寫一個「看樣子似乎...」的觀察、一件「再這樣下去很可能（壞事）」的提醒，或一句「一定是...／肯定是...」的推斷。
